

2022 年度第 4 回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険システム等
検討委員会議事録

日時：2022 年 6 月 8 日（水）18:00～19:00

場所：Web

（出席者）

（敬称略）日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 平井高志（委員長） / 遠藤健司（副委員長） / 渡辺航太 / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 牧 聡 / 宮城正行 / 松倉遊 / 坂井顕一郎 / 赤澤勉 / 平泉 裕（アドバイザー） / 山縣正庸（アドバイザー） / 青田洋一（アドバイザー） / 細金直文（アドバイザー）

側弯症学会：宮城正行（委員長） / 谷口優樹 / 藤田順之 / 酒井大輔

外保連担当

JSSR 手術：平井、坂井；実務：鈴木、牧、松倉；検査：坂井；内視鏡：高野；
処置：平井、松倉；麻酔：牧

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大
輔、麻酔：宮城

1. 2022 年度新規メンバーのご挨拶（赤澤先生・坂井先生・松倉先生・細金先生）

2. 社保委員会の 2 年間の流れ（遠藤先生）

資料に沿ってご説明。

2 年間の新規・改正の要望提出の説明。

ロボット手術においては「新規」としてあらたなエビデンスが必要で今回の
要望の提案書作成のために試案作成をしたい。ロボはナビと差別化できるよ
うな、支援技術として要望をしたい。人工関節学会でもロボ手術の要望を画
策しており、足並みをそろえて提案するのも一案である。

ガイドラインを載せるとしては腰部脊柱管狭窄症もしくは変形治療に該当
する。今後この辺をまとめてエビデンス創出が必要であろう。

赤澤先生を中心として、手術委員・コアメンバーで試案作成をしたい（7
月中）。

3. JSSR 理事会より報告（大鳥先生）

正式に委員が任命された旨ご報告。

4. 外保連実務委員会より令和6年度要望スケジュール（牧先生）/外保連委員会メンバー（平井）/要望項目案（遠藤先生）

・実務委員会報告

資料に沿って、外保連実務委員会の報告。

令和4年11月15日に提案書期限。

→エビデンスの有無、ガイドラインに載っているか。昨年度出したものについては、これらの積み増しがないと難しい。

・JSSRの各担当の紹介

（敬称略）

手術：平井、坂井

実務：鈴木、牧、松倉

検査：坂井

内視鏡：高野

処置：平井、松倉

麻酔：牧

アドバイザー：平泉・遠藤・青田

・JSSR 要望項目（案）の紹介

改正

・再手術、多数回手術加算、他院術後再手術加算（JSSR）担当辻先生
脳外科より硬膜癒着剝離加算などどうかとアドバイスあり。

・骨盤固定加算（JSSR）担当酒井先生

・頭蓋頸椎移行部固定術（側弯）NSJ と共同

・椎体形成と固定術の併用加算（JSSR）→担当未

・ロボット加算（JSSR）→ 担当赤澤先生（試案作成）

・超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大（JSSR）

・脊柱側弯症手術の注に後弯症矯正の追加、脊柱変形手術として一括→削除

・内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算 高野先生

・脊髄ヘルニア→NSJにて対応

・顕微鏡加算 NSJにて対応

材料・その他の要望項目について紹介。

- ・ネオベールシートの脊椎領域での償還→NSJ へお願い
- ・ボーンミルのディスポ部分（側彎症学会）⇒難しい可能性
- ・エアトームドリル、ボーンソーの刃、超音波骨メスのチップ（NSJ と共同）
- ・SS バイパス、顕微鏡カバー→NSJ
- ・脊髄モニタリングの電極→NSJ に相談

全審会との相談事項についての紹介

- ・DBM の適正使用の指標
- ・胸椎、腰椎手術を同時別皮切で施行したが。一方が査定された
- ・腰椎1 椎間でクロスリンクが査定される
- ・腰部脊柱管狭窄症で椎弓形成が認められない
- ・セルセーバーの算定要件が不明瞭

全審会と相談事項は進めていく（平泉先生）

5. 次回NSJ 合同会議予定

コアメンバで6/22, 6/29 で調整予定。

6. コンドリアーゼ使用基準の改訂報告（平井）

NSJ, JSSR だけでなく日本ペインクリニック学会、日本 IVR 学会が先行 2 学会認定施設で使用可能となったため、その後の連携対応等を JSSR 会員が行う必要が出てくる可能性があり、JSSR 会員にその旨の周知案を大鳥先生に理事会で出して頂き、学会から発出してほしい。

（大鳥先生）

案文を社保委員会内で回して確認後に、理事会に報告し発出いただく。

7. その他

（細金先生より）

仙腸関節固定についてガイドラインを作成中。

（遠藤先生より）

仙腸関節固定はすでに良い点数がついているので、これを踏襲して頂く。

次回合同社保委員会 8/10(水) 18:00~となった。